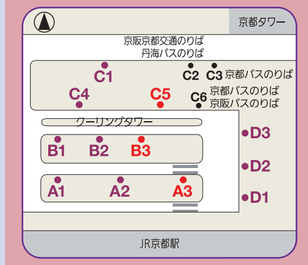
京都駅バスターミナル
梅小路公園周辺への市バスの乗り場はこちら



A3
206 四条大宮・千本北大路・北大路バスターミナル 方面行き乗り場
⇒「七条大宮・京都水族館前」下車

B3
205 水族館・西院・北野白梅町・金閣寺 方面行き乗り場
208 水族館・梅小路公園・東寺 方面行き乗り場
⇒「七条大宮・京都水族館前」または「梅小路公園前」下車
岡崎・東山・梅小路エクスプレス(土・休日運行)
水族館シャトル(土・休日運行)
水族館・梅小路公園 方面行き乗り場
⇒「七条大宮・京都水族館前」または「梅小路公園」下車

C5
33 特33
桂・洛西 方面行き乗り場
⇒「七条大宮・京都水族館前」または「梅小路公園前」下車

お出かけには
市バス・地下鉄が便利です

フェイスブックから情報発信中！ 京都しもにし通めぐり で検索
https://www.facebook.com/kyoto.shimonishi

梅小路公園 Umekoji Park
表面地図掲載位置 (C〜D-4)

広々とした芝生広場や、せせらぎと紅葉が楽しめる河原遊び場、雑木林など、市街地にありながら季節の花と自然にあふれた公園です。美しい池が自慢の日本庭園「朱雀の庭」やビオトープ「いのちの森」の散策もおすすめです。京都水族館に加え、「すざくゆめ広場」「市電ひろば」が開園し、平成28年には京都鉄道博物館も開業予定であるなど、ますます充実していきます。

毎週水曜日 9時〜10時に花の種をプレゼント！
「朱雀の庭・いのちの森」に入園（小学生以上200円）される方に1袋進呈。※種（たね）の種類は写真と異なる場合があります。

〈アクセス〉
JR・地下鉄・近鉄「京都」駅下車、徒歩約15分。市バス「七条大宮・京都水族館前」下車すぐ。市バス「梅小路公園前」下車すぐ。

◆京都市下京区観喜寺町56−3 TEL. 075-352-2500
◆開園時間「朱雀の庭」9:00〜17:00（入園は16:30まで）、月曜休（祝日の場合はその翌日）、年末年始（12/28〜1/4） ◆http://www.kyoto-ga.jp/umekouji/

京都水族館 Kyoto Aquarium
表面地図掲載位置 (D-4)

国内最大級の内陸型水族館。「水と共につながる、いのち。」をコンセプトに川の源流から海にいたるつながりと、そこに棲む多くのいのちが共生する生態系を9つのゾーンで展示しています。

〈イベント情報〉人気のイルカパフォーマンスをはじめ、遊びながら学べるワークショップや水族館の裏側を体験できるバックヤードツアーだけでなく、いきものをもっと身近に感じることのできるプログラムも開催しています。（フードメニューやグッズも充実。オリジナルの「京漬物ドッグ」やオオサンショウウオのぬいぐるみなどの商品は館内のカフェやミュージアムショップで購入できます。）

◆京都市下京区観喜寺町35-1（梅小路公園内） TEL. 075-354-3130◆開館時間 9:00〜17:00（GW・夏休み・年末年始は変更あり） 定休日 年中無休（※臨時休館、充填対応などで臨時休業をする場合があります。）◆http://www.kyoto-aquarium.com/

〈アクセス〉
JR・地下鉄・近鉄「京都」駅下車、徒歩約15分。JR「丹波口」駅下車、徒歩約15分。
市バス「七条大宮・京都水族館前」下車すぐ。

京都市中央卸売市場 Kyoto City Central Wholesale Market
表面地図掲載位置 (C-1〜3)

市民の食生活に欠かすことのできない生鮮食料品を、全国各地、世界各国から多種・大量に集荷し、せり売又は相対売の方法で適正に評価し、消費者の台所に円滑に供給することを目的として設置された全国で初めての中央卸売市場です。

※イベント時以外は一部関連事業者店舗以外は入場できません。詳しくはお問合わせください。

〈イベント情報〉毎月第2土曜日（7〜9月は休止）京都市中央卸売市場市民感謝デー「食彩市」…マグロ解体ショーや食材販売が行われる市場開放イベント。

◆京都市下京区朱雀分木町80 TEL. 075-311-6251 ◆http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/33-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html

〈アクセス〉
JR「丹波口」駅下車すぐ。市バス「七条千本」、「京都リサーチパーク前」下車すぐ。

すし市場 Sushi-Ichiba
表面地図掲載位置 (C-3)

1Fはカウンターとテーブル席の併用。ご予約は2Fテーブル席（60名まで）のみ承ります。明るく清潔感ある店内で、新鮮なネタ、旬の入荷に合わせたネタをお楽しみいただけます。お昼だけの特別ランチも限定20食ご用意しています。

〈アクセス〉
市バス「七条千本」下車すぐ。※駐車場あり

◆京都市下京区朱雀分木町80（京都市中央卸売市場内） TEL. 075-321-4418
◆営業時間 10:30〜22:00 定休日 年末年始の休業や短縮営業
◆http://sushi-ichiba.or.jp/

角屋もてなしの文化美術館 Sumiya
表面地図掲載位置 (C-3)

揚屋建築（江戸期の宴会場）の唯一の遺構（国の重文）を利用して、平成10年から「角屋もてなしの文化美術館」として開館。揚屋建築の特徴である大座敷、広庭、茶席、大きな台所とともに、所蔵美術品を春と秋の企画展のテーマごとに公開。

〈イベント情報〉平成26年度秋〜春
・9/14 〜 12/15「財団設立25周年記念　角屋名品展」
・3/15 〜 7/18「久坂玄瑞と幕末維新展」
※以降の展示予定についてはお問い合わせください。

◆京都市下京区西新屋敷揚屋町32 TEL. 075-351-0024 ◆開館時間 10:00〜16:00 定休日 月曜日（祝日の場合翌日）、休館期間 12月16日〜3月14日、7月19日〜9月14日 ◆http://www16.ocn.ne.jp/~sumiyaho/

〈アクセス〉
JR「丹波口」駅下車、徒歩約7分。市バス「島原口」下車、徒歩約10分。

京都リサーチパーク Kyoto Research Park
表面地図掲載位置 (B-1)（B〜C-2）

当地区は京都府、京都市、地元産業界の協力・連携の下、創造的な研究開発・ビジネス環境等の提供を通じて、新たな分野を切り開く企業を支援し、地域の産業発展・活性化に寄与することを目的に、全国初の民間運営によるリサーチパークとして平成元（1989）年から運営しており、現在では約340社の企業集積を実現しています。

〈イベント情報〉平安貴族のくらしと文化展示室 無料開放 開場時間 9:00〜17:00
※定休日 土日祝（事前予約のみ対応）
※通常は施錠していますので、閲覧をご希望の方は、KRP2号館1階管理センターへお声掛けください。

◆京都市下京区中堂寺南町134 TEL. 075-322-7800
◆http://www.krp.co.jp/

〈アクセス〉
JR「丹波口」駅下車、徒歩約5分。※駐車場あり

京都駅ビル Kyoto Station Building
表面地図掲載位置 (F-5)

国内外から京都を訪れる人の多くが旅の起点として利用される京都駅ビル。グルメや宿泊、ショッピングをお楽しみいただくとともに、ビル内の各所にある広場でのんびりと過ごしたり、劇場や美術館を訪ねてみてはいかがですか。

〈アクセス〉JR、近鉄、地下鉄、「京都」 京都市バス「京都駅」。

◆京都市下京区烏丸通塩小路下る東塩小路町901
TEL. 075-361-4401（京都駅ビルインフォメーション）
◆営業時間 施設により異なる 定休日 施設により異なる
◆http://www.kyoto-station-building.co.jp

梅小路蒸気機関車館 Umekoji Steam Locomotive Museum
表面地図掲載位置 (C-4)

蒸気機関車専門の博物館です。本物の蒸気機関車18形式20両が保存されており、ダイナミックにSLが向きを変える転車台、SLの知識がいっぱい詰まった展示品、明治の雰囲気を色濃くかもし出す旧二条駅舎など、日本の鉄道の歴史を体験できます。実際に動く蒸気機関車「SLスチーム号」の体験乗車イベントも大人気。

〈アクセス〉
JR・地下鉄・近鉄「京都」駅下車、徒歩約20分。JR「丹波口」駅下車、徒歩約15分。
市バス「梅小路公園」下車すぐ。市バス「梅小路公園前」下車、徒歩約5分。

◆京都市下京区観喜寺町 TEL. 075-314-2996 ◆開館時間 10:00〜17:30（入館は17:00まで） 定休日 水曜日、年末年始 ※春・夏休みは開館 ◆http://www.mtm.or.jp/uslm/

京の食文化ミュージアム あじわい館 Ajiwaikan: Kyoto's Food and Culture Museum
表面地図掲載位置 (C-1)

京都市中央卸売市場内に平成25年4月オープン。京都のさまざまな食文化を見て・作って・味わって、学ぶことができます。各種展示のほか、プロに学ぶ料理教室・講演会なども随時開催！（見学は無料・予約不要。料理教室は有料・要予約）

〈アクセス〉
JR「丹波口」駅下車、徒歩約3分。市バス「京都リサーチパーク前」下車、徒歩約2分。

◆京都市下京区中堂寺南町130 京都南東センター3F TEL. 075-321-8680
◆開館時間 8:30〜17:00 定休日 水曜日（祝日を除く）、および年末年始（12月31日〜1月4日） ◆http://www.kyo-ajiwaikan.com/

大阪ガス ディリパ Osaka Gas DILIPA
表面地図掲載位置 (B-2)

最新のガス機器・設備を展示するだけでなく、実際に体感していただけるコーナーを設けています。新築・リフォームの際などぜご検討の際は、是非お立ち寄りください。

〈アクセス〉
JR「丹波口」駅下車、徒歩約5分。市バス「京都リサーチパーク前」下車、徒歩約5分。※駐車場あり

◆京都市下京区中堂寺栗田町93 KRP ガスビル1F TEL. 075-315-8853
◆開館時間 9:00〜17:30 定休日 水曜日/年末年始/夏季
◆http://home.osakagas.co.jp/showroom/dilipa_kyoto/index.html

商店街 Shopping Districts
表面地図掲載位置 (A〜F-4)（D-2）

本エリアの7つの商店街では、住民や学校など、地域と連携しながら様々な事業やイベントを実施しています。

〈嶋原商店街〉江戸時代以降、花街「島原」としてにぎわったエリア。商店街が形成された大正時代当初をしのばせる建物や、昔懐かしい町並みが印象的。

〈七条センター商店街〉様々な業種のお店が数多く並ぶ商店街。梅小路公園・京都水族館にも近く、家族そろっての散策もおすすめ。

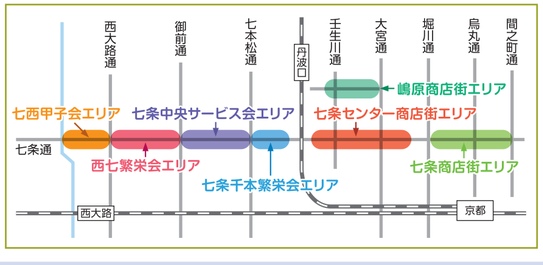
〈七条千本繁栄会〉中央卸売市場に隣接しており、店先には生鮮食品がたっぷり。鮮魚、果物、京野菜など、新鮮食材がいつでもお買い得価格で手に入ります。

〈七条中央サービス会〉月に一度は特売日「みそか市」が開かれる、地域に根ざした商店街。周辺には、松尾大社西七条御旅所など、地元住民なじみの神社仏閣が立ち並びます。

〈西七繁栄会〉山陰街道の玄関口として栄え、平安京遷都の年には官営の「西の市」が置かれた、かつての京都経済の中心地ともいえる場所にある商店街です。

〈七西甲子会〉散策がてら買い物を楽しめるお店が数多く並ぶ商店街。商店街の南には平清盛ゆかりの寺「勝明寺」もあり、この地域と平家のつながりを垣間見ることができます。

〈七条商店街〉京都駅からも歩いて行ける烏丸七条を中心に広がる商店街。周辺には東西両本願寺もあり、仏具店など古くからのお店も多く営業されています。近代建築も楽しめるエリアです。



東寺 To-ji Temple
表面地図掲載位置 (D-6)

東寺真言宗の総本山。平安京遷都の2年後、国家鎮護のため羅城門の東に創建されました。高さ55mの五重塔（国宝）は木造の建造物としては日本一の高さ。平成6年に「古都京都の文化財」の一つとして世界文化遺産に登録されています。

〈法要・行事情報〉毎朝6時より生身供（朝のおつとめ）、毎月21日弘法市（緑日）

〈アクセス〉
市バス「東寺東門前」、「東寺南門前」、「東寺西門前」、「九条大宮」下車すぐ、近鉄電車「東寺」駅下車、徒歩約10分。

◆京都市南区九条町1 TEL. 075-691-3325（代） ◆開門時間 5:00〜16:30（3月20日〜9月19日は17:30まで） ◆拝観時間8:30〜16:30（3月20日〜9月19日は17:30まで） 定休日 無し ◆http://www.toji.or.jp/

西本願寺 Nishi-Hongwan-ji Temple
表面地図掲載位置 (E-3)

西本願寺は、浄土真宗本願寺派の本山です。京都では「西本願寺」や「お西さん」などと呼ばれ親しまれています。浄土真宗は親鸞聖人によって開かれた教えで、本願寺には全国各地から参拝者が訪れます。

〈法要・行事情報〉毎日6時よりお晨朝（朝のおつとめ）、14時・19時より常例布教（於聞法会館総会所）。11/22・23：秋の法要。12/20：お煤払。1/9〜16：御正忌報恩講法要。3月：春季彼岸会　など

◆京都市下京区堀川通正面下る（西本願寺前） TEL. 075-371-5181（代） ◆開門時間 5:30〜17:00（季節により17:30早い、または18:00遅い） 定休日 無し ◆http://www.hongwanji.or.jp/

〈アクセス〉
JR・地下鉄・近鉄「京都」駅下車、徒歩約15分。
市バス「西本願寺前」下車すぐ。

東本願寺 Higashi-Hongan-ji Temple
表面地図掲載位置 (F-3)

真宗大谷派の本山で、正式名称は「真宗本廟」といいます。境内には ご本尊である阿弥陀如来を安置する阿弥陀堂、浄土真宗の教えを開かれた宗祖親鸞聖人の木像を安置する御影堂の2つのお堂があります。飛地境内である渉成園（徒歩7分）では、四季折々の景観を楽しむことが出来ます。

〈法要・行事情報〉毎朝7時より晨朝（朝のおつとめ）・法話。11/21〜28：真宗本廟報恩講。12/20：お煤払い。1/1 〜7：修正会。3月：春季彼岸会 など

◆京都市下京区烏丸通七条上る TEL. 075-371-9181 ◆開門時間 3月〜10月／5:50〜17:30・11月〜2月／6:20〜16:30 定休日 無し ◆http://www.higashihonganji.or.jp/

〈アクセス〉
JR・地下鉄・近鉄「京都」駅下車、徒歩約7分。
市バス「烏丸七条」下車、徒歩約2分。地下鉄「五条」駅下車、徒歩約5分。

KYOCA（京果会館） KYOCA Food Laboratry
表面地図掲載位置 (C-3)

京都市中央卸売市場のすぐ近くにある築40数年の京果会館ビルをリノベーション。平成26年7月、食をテーマにした複合型商業ビルとして生まれ変わりました。

1、2階には市場の新鮮な食材を使ったピッツァ、ドライフルーツ専門店などこだわりのお店がオープンしています。3階では食に係わる多彩なイベントを随時開催。

〈アクセス〉
JR・地下鉄・近鉄「京都」駅下車、徒歩約15分。JR「丹波口」駅下車、徒歩約10分。
市バス「梅小路公園前」または「七条千本」下車すぐ。

◆京都市下京区朱雀正会町1-1 連絡先：(株)ウエダ本社 TEL. 075-341-4111 KYOCA担当 ◆営業時間 施設により異なる 定休日 施設により異なる ◆http://kyoca.jp/

龍谷大学 龍谷ミュージアム Ryukoku Museum
表面地図掲載位置 (E-3)

仏教の誕生と広がりをわかりやすく紹介する仏教の総合博物館です。平常展では、アジアから日本へ伝わった仏教が、各地の文化や風習と融合しながらその土地に受け入れられた様子を貴重な文化財や映像・音声で紹介しています。春と秋には、魅力的なテーマを設けてさまざまな角度から仏教を捉えた特別展を開催しています。

※平常展・特別展の開館日につきましては、龍谷ミュージアムWebページをご確認ください。

◆京都市下京区堀川通正面下る（西本願寺前） TEL. 075-351-2500 ◆開館時間 10:00〜17:00 ※入館受付は16:30まで ◆http:// museum.ryukoku.ac.jp/

〈アクセス〉
JR・地下鉄・近鉄「京都」駅下車、徒歩約12分。市バス「西本願寺前」下車、徒歩約2分。
地下鉄「五条」駅下車、徒歩約10分。

龍谷大学大宮学舎 Ryukoku University Omiya Campus
表面地図掲載位置 (D-3)

大宮学舎は、龍谷大学（1639年創立）の発祥の地です。キャンパスの中央にある本館をはじめ、正門、守衛所、北黌、南黌が国の重要文化財に指定されています。1879（明治12）年創建当初の建物がほぼ完全な形で全体景観を形成していることは、明治建築物では珍しい事例です。

※キャンパス内は8:00〜19:00まで自由に入構できます。
（大学行事、授業等の関係により時間が変更となる場合があります。）

※大学行事、授業等で使用しているため、建物内へは入館できません。

〈アクセス〉
JR・地下鉄・近鉄「京都」駅下車、徒歩約12分。京阪「七条」駅下車、徒歩約20分。
市バス「七条大宮・京都水族館前」下車すぐ。

◆京都市下京区七条通大宮東入大工町125-1 TEL. 075-343-3311（代）
◆http://www.ryukoku.ac.jp/

島原大門 Shimabara Omon
表面地図掲載位置 (C-2)

寛永18（1671）年に六条三筋町から移されたわが国最初の公許の花街、島原。その当時、外周は堀と塀で囲まれ、大門はその東北角に設けられましたが、明和3（1766）年に現在地に移設されました。その後、弘化7（1854）年に一度焼失し、現在の門は慶応3（1867）年再建されたもの。本柱上の屋根のほかに後方の控柱上にも小屋根をのせた「高麗門」という形をしており、門前に植えられた「出口の柳」や「さらば垣」が当時の趣をそのままに伝えています。京都市指定建造物。

輪違屋 Wachigaiya
表面地図掲載位置 (C-2)

現在も営業を続ける京都の花街、島原の置屋兼お茶屋。元禄元（1688）年に置屋「養花楼」として創業して以来、傾城（＝遊宴のもてなしを公認された女性）の最高位である太夫を有する唯一のお茶屋として、320年以上も営業を続けています。現在の建物は安政4（1857）年に再建されたもので、太夫道中に使われる傘を襖に貼り込んだ「傘の間」、本物の紅葉で型取り・彩色した壁が使われた「紅葉の間」が特徴的。京都市指定・登録文化財。（※内部は通常見学不可。）

西鴻臚館跡 Nishi-Korokan Site
表面地図掲載位置 (C-3)

鴻臚館（こうろかん）とは、平安時代前期に設置された外国の使節団を受け入れる迎賓館のこと。当時は、朱雀大路をはさんで、東西両側にあり、接待や宿泊施設の場となっていました。「源氏物語」の「桐壺」にも登場します。西鴻臚館跡からは、奈良の平城京から長岡京を経て平安京に遷ばれた瓦や、銭貨、土師器、須恵器、輸入陶器など、当時の華やかさが伺える品々が多数出土しています。

天満屋跡 Tenmaya Site
表面地図掲載位置 (E-2)

坂本龍馬を暗殺された報復として、海援隊士・陸援隊士らが京都油小路の旅籠・天満屋を襲撃し、新撰組と一戦を交えた天満屋事件。跡地には「慶応3年12月7日天満屋騒動之跡」と書かれた石碑が立っています。

平安京野寺小路跡 Heiankyo-Nodera-Koji Site
表面地図掲載位置 (A-4)

平安京の官設市場「西の市」の西側に面していた小路跡。小路の名前は、北辺に実在した野寺（秦氏の氏寺で広隆寺の前身ともいわれる寺）に由来すると伝わっています。

若一神社 Nyakuichi-Jinja Sharine
表面地図掲載位置 (A-5)

平安末期、平清盛が別邸「西八条殿」を建て、紀州熊野の若一王子の御霊を祭ったのが始まりとされる神社。それ以降、清盛の勢威がのびたことから開運出世の神として崇められています。社前の清盛手植えの大楠がシンボル。毎年11月10日には、例祭「火焚神事」が行われます。

不動堂明王院 Fudondou myououin Temple
表面地図掲載位置 (E-4)

これまで見た者は誰もいないという不思議な不動明王像を祀る寺。弘仁14（823）年に寺を創建した弘法大師空海自ら彫刻した不動明王像が、石棺に納められ、地中の井戸深くに安置されているそうです。新撰組の屯所の一つである「不動堂村屯所」の地名の由来になったことでも知られ、「新撰組ほぼろしの屯所」と書かれた提灯が掲げられています。